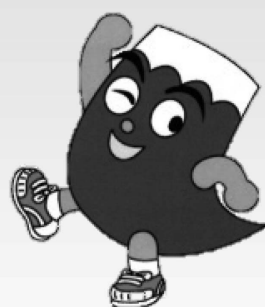


第49回  
日本実験動物技術者協会総会  
プログラム

*Shizuoka2015*

会 期 / 2015年10月9日（金）～10日（土）

会 場 / グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）



ふじっぴー ©静岡県

# 目 次

## ご案内

|                                            |    |
|--------------------------------------------|----|
| 1. 参加者の皆様へ .....                           | 2  |
| 2. 特別講演、教育講演、シンポジウム、教育セミナーの<br>演者の方へ ..... | 4  |
| 3. 一般演題口頭発表者の方へ .....                      | 4  |
| 4. ポスター発表の方へ .....                         | 5  |
| 5. 発言者の方へ .....                            | 6  |
| 6. 座長の方へ .....                             | 6  |
| 交通案内 .....                                 | 12 |
| 会場案内図 .....                                | 14 |
| タイムテーブル .....                              | 16 |

## プログラム

|                  |    |
|------------------|----|
| 1. 総会プログラム ..... | 7  |
| 2. 口頭発表 .....    | 18 |
| 3. ポスター発表 .....  | 21 |



## 第49回日本実験動物技術者協会総会 プログラム発行について

第49回日本実験動物技術者協会総会静岡大会

大会長 前田典彦

(京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター)

この度、皆様の多大なご支援により、第49回日本実験動物技術者協会総会を、静岡市で開催する運びとなりました。ありがとうございます。このほど大会プログラムを発行させていただきます。

今大会のキャッチフレーズは、「集まろう、繋がろう、踏み出そう ふじのくに Shizuoka2015」です。

新支部による、新しい企画をと考え、「人と動物福祉」という大テーマを掲げ、進めて参りました。特別講演とシンポジウムⅠは“動物の生命(いのち)”という共通のテーマでコラボレーションします。エンリッチメント技術や馴致手法など技術的な面ばかりがクローズアップされる動物福祉について、文化人類学の富沢先生、社会学の棚島先生、倫理学の佐藤先生といずれも文系の先生方をお招きし、動物の生命と人との関係という新たな視点から捉えてみよう企画しました。人と動物の関係について、再認識する機会になれば幸いです。

「**Well-being** ひろば」も1階ホワイエで開催します。動物福祉での行き詰まりや、悩み、これからどうしたら？等の悩みをぶつけてください。一線で活躍する「動物福祉のプロ」が相談に乗ります。また今大会初の試みで、大会前日の10月8日に“3Rs”に関する、サテライト・アフタヌーンセミナーを開催します。今後も継続できるよう盛り上げたいと思います。

実験動物器材は、1階の大ホール「海」で展示会を開きます。受付後すぐですので、こちらもお立ち寄りください。

静岡県は交通の便が悪いイメージがありますが、今回開催する「静岡県コンベンションアーツセンター『グランシップ』」は東静岡駅にとっても近く、静岡駅で新幹線から在来線に乗り換えて3分ほどの距離です。空の便は羽田空港から横浜駅(YCAT)経由、静岡駅のバスか、新幹線に乗り換えてお越しください。北海道・九州・沖縄からお越しの方は、富士山静岡空港が便利です。静岡駅までバスが出ていますのでご利用ください。

これまでにない、動物福祉に特化した大会になっていますので、ぜひ皆様”お楽しみ”ください宜しくお願いします。



ふじっぴー © 静岡県

# 第 49 回日本実験動物技術者協会総会

## 開催案内

会 期 平成 27 年 10 月 9 日(金)・10 日(土)  
会 場 グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター)  
〒 422-8005 静岡県静岡市駿河区池田 79-4  
TEL 054-203-5710  
<http://www.granship.or.jp/>  
大会長 前田 典彦 (京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター)  
大会ホームページ <http://www.jaeat-tokai.org/shizuoka2015/index.html>

### 第 49 回日本実験動物技術者協会総会静岡大会 ー集まろう、繋がろう、踏み出そう ふじのくに Shizuoka2015ー

大会テーマ：人と動物福祉

サブテーマ：1 日目「動物の生命 (いのち)」、2 日目「動物福祉を実現するために人間ができること」

#### 1. 参加者の皆様へ

##### ◇受 付

- ・受付は 10 月 9 日(金) 9:00 よりグランシップ 1 階 大ホール海にて行います。
- ・事前登録された方は、講演要旨集に同封されたネームカードおよび参加受付票に必要事項をご記入の上、事前登録受付にお越し下さい。ネームホルダー等をお渡しします。
- ・当日登録の方は記名台に備え付けの参加受付票に必要事項をご記入の上、当日登録受付にて参加費を納入し、ネームカード、ネームホルダー、講演要旨集等をお受け取り下さい。また、懇親会に参加を希望される方は、懇親会費を納入して下さい。学生の方は、受付の際、学生証のご提示をお願いします。
- ・一旦納入された参加費および懇親会費は返却できません。予めご了承下さい。
- ・会場内では、必ずネームカードをご着用下さい。ネームカードを確認できない場合は、入場をお断りすることがあります。
- ・会の進行を妨げるような行為が認められた場合は、退場して頂きます。予めご了承下さい。

##### ◇総会参加費 (講演要旨集代を含む)

|      |            |              |            |
|------|------------|--------------|------------|
| 事前登録 | 会員 6,000 円 | 非会員 8,000 円  | 学生 3,000 円 |
| 当日登録 | 会員 8,000 円 | 非会員 10,000 円 | 学生 4,000 円 |

※講演要旨集のみをご希望の方は 1 冊 2,000 円にて販売いたします。

##### ◇懇親会

日 時：10 月 9 日(金) 18:30 ～ 20:30

場 所：グランシップ 6F 交流ホール

参加費：事前申込 6,000 円 当日申込 8,000 円

事前申込みについては、詳しくは下記 URL をご覧下さい。

<http://www.jaeat-tokai.org/shizuoka2015/site2/application.html>

※当日申込みは 10 月 9 日(金) 14:00 まで受付いたします (当日の場合、定員になりましたらお断りする場合がございます。予めご了承下さい)。

#### ◇教育セミナー

参加ご希望の方は事前申し込みを行いますので、大会ホームページをご覧の上、FAX またはメール添付にて大会事務局（岐阜大学生命科学総合研究支援センター動物実験分野 大会事務局長 大山 貴之宛 FAX：058-230-6044、E-mail:jaeat2015@jaeat-tokai.org）にお申し込みください。定員は教育セミナー 1 および 2 ともに 70 名です。なお、定員に満たない場合は、当日も受付を行います。テキスト代または資料代として 1 テーマにつき 500 円必要です。総合受付でお支払い頂いた後に、テキスト又は資料をお渡しいたします。なお、教育セミナーは修了証が発行されます。後日郵送の予定です。

#### ◇サテライト・アフタヌーンセミナー

初の試みとして、大会前日の 10/8 (木) 16:00 から 18:00 に開催されます。ふるってご参加下さい。

#### ◇ランチョンセミナー

「ランチョンセミナー参加券」はセミナー開催当日に総合受付にて、セミナー開催団体が配布いたします。なお、各参加券の配布は、先着順にて定員となり次第、終了させていただきます。予めご了承下さい。

#### ◇Well-being ひろば

皆さんの施設での動物福祉に関する悩みや取り組みを共有できる場として、**Well-being** ひろばを今年も開催します。是非お立ち寄り下さい。

#### ◇一般演題番号の表記について

- ・口頭発表の演題番号は B-1 ～ 12、C-1 ～ 12 と表記しました。B、C は会場名を表します。
- ・ポスターの発表演題番号は P-1 ～ 40 と表記しました。

#### ◇ポスター発表について

- ・ポスター会場は、1 階 大ホール海です。
- ・ポスターの掲示期間は 10 月 9 日(金) 10:00 から 10 月 10 日(土) 13:30 までといたします。
- ・ポスターの設営は 10 月 9 日(金) 9:00 から 10:00 といたします。
- ・10 月 10 日(土) 13:00 から 13:30 まで、ポスター番号の奇数・偶数に分けてフリーディスカッションのコアタイムを設定いたします。

#### ◇実験動物関連器材展示

- ・1 階 大ホール海にて各企業による器材展示を行います。ふるって足をお運び下さい。

#### ◇撮影・録音行為について

会場内は主催者の許可のない撮影・録音行為を禁止いたします。無許可の撮影・録音行為があった場合は、大会スタッフが記録媒体からのデータの消去等しかるべき処置を執らせていただきます。ただし、ポスター発表については、発表者の許可を得た場合に限り、写真撮影によって発表内容を記録できるものとします。

何卒、趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

#### ◇クローク

1 階 大ホール海にクロークを設けております。お預かりの時間は、10 月 9 日(金) 9:00 から 18:00、10 月 10 日(土) 9:00 から 14:00 とさせていただきます。お荷物の引き取り忘れがないようお願いいたします。

なお、10 月 9 日に行われる懇親会の間は、18:00 から 21:00 の間、6F（交流ホール）にクロークを設けます。お荷物を大ホール海のクロークから必ず移動させていただきますようお願い申し上げます。

#### ◇駐車場

大会専用の駐車場はございません。グランシップ広場西側に普通乗用車 400 台分の駐車場があります。グランシップご利用の方は、グランシップ内の精算機をご利用いただくと利用料金が 1 時間あたり 100 円となります。入庫時間は 8:00 から 22:00 まで、出庫は 24 時間可能です。なお、大型イベント開催時は大変混雑するうえ、入庫に長時間お待ちいただく場合がありますので公共交通機関をご利用ください。

#### ◇呼び出し

会場内での呼び出しは行いません。総合受付の案内板をご利用下さい。

#### ◇携帯電話のご利用について

会場内での携帯電話の使用はご遠慮下さい。会場内ではマナーモードに設定するか、電源をお切り下さい。

#### ◇インターネットの利用について

1 階情報ラウンジでパソコン（無料）がご利用いただけます。また、情報ラウンジでは無線 LAN 接続も可能です。

### 2. 特別講演、静岡記念特別講演、教育講演、シンポジウム、教育セミナーの演者の方へ

#### ◇発表準備および発表方法

- ・液晶プロジェクターによる PC 発表のみです。ノートパソコンおよび液晶プロジェクターは会場で用意いたしますが、ご自身のノートパソコンをお持ち頂いても結構です。ただし、接続ケーブルは VGA 端子（ミニ D-Sub15 ピン）のみとなっておりますので、変換コードはご持参下さい。
- ・大会本部で用意するノートパソコンは Windows PC（Windows7）です。プレゼンテーション用のアプリケーションは PowerPoint2010 です。
- ・Macintosh をご利用になりたい方は、プロジェクターに出力できるコネクタをご持参下さい。
- ・お持ち込みいただけるメディアは、USB フラッシュメモリのみです。フロッピーディスクや CD、MO は受け付けておりませんのでご注意下さい。

### 3. 一般演題口頭発表者の方へ

#### ◇発表準備および発表方法

- ・液晶プロジェクターによる PC 発表のみです。ノートパソコンおよび液晶プロジェクターは大会本部で用意いたします。
- ・大会本部で用意するノートパソコンは、Windows PC（Windows 7）です。プレゼンテーション用のアプリケーションは PowerPoint2010 です。Macintosh はご利用いただけません。
- ・お持ち込みいただけるメディアは、USB フラッシュメモリのみです。フロッピーディスクや CD、MO は受け付けておりませんのでご注意下さい。USB フラッシュメモリには発表データのファイルのみを保存していただき、ファイル名は講演番号と発表者名を記載下さい。例) B-1 静岡 富士太郎

#### ◇発表データ受付

- ・PC データ受付（10F 1004 室）の PC 受付スタッフに USB フラッシュメモリにて発表用ファイルをお渡し下さい。ファイルをパソコンにコピー後、USB フラッシュメモリはその場で返却します。発表データ受付時間については下記の通りです。

受付時間：B1 ～ B6、C1 ～ C6 10 月 9 日の 15:00 ～ 16:00

B7 ～ B12、C7 ～ C12 10 月 9 日の 16:00 ～ 17:00

10 月 10 日ご発表の方で、9 日ご都合の悪い方は、10 月 1 日 17:00 までに、大会事務局にご相談下さい。ご発表終了後、大会事務局が責任を持ってお預かりした発表用ファイルをすべて消去いたします。

#### ◇データ作成時の注意点

- ・フォントは文字化けを防ぐため、下記のフォントにて作成して下さい。  
日本語：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝  
英 語：Century、Century Gothic、Times New Roman

#### ◇動画その他データを使用する場合

- ・動画やアニメーションは、発表時の誤作動の原因になることもありますので、できるだけ使用を避けて下さい。  
やむをえず動画データを使用する場合は、発表データ受付の動作確認用の PC にて発表データの確認を必ず行って下さい。
- ・発表データに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ず他のデータも保存していただき、事前に動作確認をお願いいたします。

#### ◇発表時間

- ・発表予定時刻の 10 分前、もしくは前の演者の発表が始まりましたら、次演者席にご着席ください。
  - ・発表時間は口演 8 分、質疑応答 2 分の計 10 分です。
  - ・発表開始から 7 分・8 分・10 分にそれぞれベルが 1 ～ 3 回鳴ります。
  - ・予定時間を超過する場合は途中で中断していただく事もあります。時間厳守をお願いいたします。
- ※パソコンのトラブルにより映像の投影が不可能となりましても事務局では責任を負いかねます。また発表時間の延長はできませんのであらかじめご了承ください。

### 4. ポスター発表者の方へ

#### ◇発表方法

- ・フリーのプレゼンテーションおよびディスカッションとします。座長は設けませんので、ポスター掲示期間に随時参加者に対してプレゼンテーションおよびディスカッションをして下さい。また 10 月 10 日(土) 13：00 ～ 13：30 をポスターディスカッションのコアタイムとしますので、ポスター発表者の方はこの時間帯は必ずポスターの前で待機して下さい。
- ・ポスター会場は 1F 大ホール海です。ポスターの掲示期間は 10 月 9 日(金) 10：00 から 10 月 10 日(土) 13：30 までといたします。

掲 示 準 備 10 月 9 日(金) 9：00 ～ 10：00

掲 示 期 間 10 月 9 日(金) 10：00 ～ 18：00

10 月 10 日(土) 9：00 ～ 13：30

コアタイム 10 月 10 日(土) 13：00 ～ 13：15 …ポスター番号奇数グループ (P1、P3、P5 …)

13：15 ～ 13：30 …ポスター番号偶数グループ (P2、P4、P6 …)

撤 去 作 業 10 月 10 日(土) 13：30 ～ 14：00

※ 10 月 10 日 14：00 以降も掲示されているポスターは、総会本部にて処分させていただきます。

#### ◇ポスター作製要領

- ・1 演題あたり、縦 210cm × 横 90cm のポスターボードをご用意いたします。ポスターは上から 180cm 以内で使用して下さい。
- ・最上段左側に演題番号札 (20cm × 20cm) が入りますので、この部分は空けてください。
- ・演題名、発表者名 (発表者の前に○印)、所属機関名を上部に記載してください。海外からの参加者にも配慮して、演題名と発表者名は和文と英文で表記してください。
- ・本文の文字は離れた位置からでも十分読み取れる大きさにしてください (文字の大きさは 16 ポイント以上、ゴシックフォント、また、全体として字間を詰めて行間を空けることを推奨します。)
- ・演題番号札、掲示用チェスピンはポスター発表会場に用意いたします。ガムテープ、両面テープは使用しないでください。



## 5. 発言者の方へ

- ・ 予めマイクの前でお待ちください。
- ・ 発言は座長の許可を得た後、所属と氏名を述べてから発言してください。
- ・ 座長の指示に従わない場合には、退席して頂きます。

## 6. 座長の方へ

- ・ 担当セッションの 15 分前迄に、次座長席にご着席ください。
- ・ 発表時間は口演 8 分、質疑応答 2 分の計 10 分です。発表開始から 7 分・8 分・10 分にそれぞれベルが 1 ～ 3 回鳴ります。1 演題 10 分の範囲内で活発な討論が行われますよう、進行の程よろしく願いいたします。
- ・ 以降のセッションに影響が出ないよう時間厳守をお願いします。

## 7. 理事・評議員の方へ

- ・ 理事会は 10 月 8 日(木) 13:30 から 16:00 に E 会場（10 階 1002）にて開催致します。
- ・ 評議員会は 10 月 9 日(金) 11:25 から 12:40 に B 会場（10 階 1001-2）にて開催致します。

## 8. 器材展示の方へ

- ・ 器材展示は 1 階 大ホール海で行います。
- ・ 展示物搬入は、10 月 8 日(木) 専用搬入口より搬入してください。
- ・ 展示時間は、10 月 9 日(金) 9:00 から 10 月 10 日(土) 14:00 までです。
- ・ 器材展示関係者の方におかれましても、当日会場内では必ずネームカードを着用してください。
- ・ 展示物搬出は 10 月 10 日(土) 14:00 から行ってください。





# 第 49 回日本実験動物技術者協会総会プログラム

## 1. 第 49 回日本実験動物技術者協会総会

10月9日(金) 13:00～15:00 A会場(11階メインホール風)

日本実験動物技術者協会総会

各種表彰

### 1. 第 14 回顕彰

朱宮 正剛 (日本実験動物環境研究会会長)

市川 哲男

### 2. 第 34 回研究奨励賞

「2型糖尿病モデルIRS-2ノックアウトマウスにおける遺伝的背景129<sup>Ter</sup>/SvおよびC57BL/6Jcl系統の比較」

橋本 晴夫<sup>1</sup>、新井 敏郎<sup>2</sup>、川井 健司<sup>1</sup>、窪田 直人<sup>3</sup>、植木 浩二郎<sup>3</sup>、日置 恭司<sup>1</sup>、斎藤 宗雄<sup>1</sup>、大西 保行<sup>1</sup>、  
上山 義人<sup>1</sup>、門脇 孝<sup>3</sup>、伊藤 守<sup>1</sup>

(1:公益財団法人実験動物中央研究所、2:日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医生化学教室、3:東京大学大学院 糖尿病代謝内科)

### 3. 第 21 回実験動物技術功労賞

向川 市郎 (福井大学 ライフサイエンス支援センター)

藤田 芳顕 (中部大学 実験動物教育研究センター)

### 4. 第 6 回実験動物福祉奨励賞

「協和発酵キリン(株)における入社時の動物実験教育訓練への取り組み」

紹慶 洋治、奥村 浩、山形 強、小島 夏樹

(協和発酵キリン株式会社 研究本部)

### 5. 第 18 回業界アワード

#### 1) 日本実験動物協同組合賞

「BMY法を用いたマウスの新規人工授精法の確立」

伊藤 恒賢<sup>1</sup>、大和田 一雄<sup>1,2</sup>

(1:山形大学医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物センター、2:産業技術総合研究所)

#### 2) 日本実験動物飼料協会賞

該当無し

#### 3) 日本実験動物器材協議会賞

「新潟大学脳研究所動物実験施設の改修工事 ―その3 施設運用開始と問題点―」

前田 宜俊<sup>1</sup>、小田 佳奈子<sup>1</sup>、酒井 清子<sup>1</sup>、永田 史也<sup>1</sup>、神保 幸弘<sup>1</sup>、田中 稔<sup>1</sup>、山本 美丘<sup>1</sup>、  
千葉 さおり<sup>1</sup>、佐藤 俊哉<sup>1</sup>、藤澤 信義<sup>1</sup>、横山 峯介<sup>1,2</sup>、笹岡 俊邦<sup>1</sup>

(1:新潟大学 脳研究所 動物資源開発研究分野、2:公益財団法人 実験動物中央研究所)

## 2. 特別講演

10月9日(金) 9:45～11:15 A会場(11階メインホール風)

シンポジウムIとの連動企画 テーマ「動物の生命(いのち)」

連動企画総司会:北 徳 (元倉敷芸術科学大学動物生命科学科)

司会:中野 洋子 (アステラス製薬株式会社)

『ヒトの動物観・動物利用の諸相:近親化と差別化の交錯史』

富沢 壽勇 (静岡県立大学国際関係学部/グローバル地域センター)

### 3. 静岡記念特別講演

10月10日(土) 9:15～10:15 A会場(11階メインホール風)

座長：刑部 光利（浜松医科大学動物実験施設）

『遺伝育種学からみた過去と将来の実験動物』

加藤 秀樹（浜松医科大学動物実験施設／実験動物中央研究所実験動物遺伝育種研究室）

### 4. シンポジウム

#### シンポジウムⅠ

10月9日(金) 15:00～17:00 A会場(11階メインホール風)

特別講演との連動企画 テーマ「動物の生命（いのち）」

連動企画総合司会：北 徳（元倉敷芸術科学大学動物生命科学科）

司会：武井 信貴子（株式会社イナリサーチ）

中野 洋子（アステラス製薬株式会社）

シンポジスト：

『動物実験の倫理と動物保護の関係 ～3つのRの意味を再考する』

櫛島 次郎（東京財団／自治医科大学客員研究員）

『動物を対象とする実験の倫理』

佐藤 芳（藤田保健衛生大学医学部）

#### シンポジウムⅡ 静岡実験動物研究会協賛

10月10日(土) 10:15～12:00 A会場(11階メインホール風)

#### 代替法

座長：奥村 浩（協和発酵キリン株式会社）

シンポジスト：

『ゼブラフィッシュ研究の最前線』

川上 浩一（国立遺伝学研究所初期発生研究部門）

『代替実験動物としてのカイコの有用性』

関水 和久（東京大学大学院薬学系研究科／株式会社ゲノム創薬研究所）

#### シンポジウムⅢ 本部企画

10月10日(土) 13:15～15:15 A会場(11階メインホール風)

#### 医療機器開発におけるブタの役割

座長：塩谷 恭子（国立循環器病センター）

矢田 範夫（岡山大学）

シンポジスト：

『ブタを用いた医療機器の安全性評価拠点を指してー「ふくしま医療機器開発支援センター」の紹介ー』

大和田 一雄（ふくしま医療器産業推進機構安全性評価部）

『異種脱細胞血管開発におけるミニブタの利用』

山岡 哲二（国立循環器病研究センター研究所生体医工学部）

『実験用ブタの発展のために』

大西 彰（日本大学生物資源科学部）

## 5. 教育講演

---

### 教育講演 1 10月10日(土) 13:15～14:35 C会場(10階 1001-1)

---

座長：武智 真由美（島根大学）  
『動物看護師とその認定資格について』  
古川 敏紀（倉敷芸術科学大学）

---

### 教育講演 2 10月10日(土) 10:45～12:00 B会場(10階 1001-2)

---

座長：前田 典彦（京都大学霊長類研究所）  
『サルの使用と飼養のすすめ』  
中村 克樹（京都大学霊長類研究所／NBRP ニホンザル分担機関課題管理者）

## 6. 教育セミナー

---

### 教育セミナー 1 10月10日(土) 9:15～10:35 E会場(10階 1002)

---

座長：土佐 紀子（北海道大学大学院医学系研究科）  
『実践で役立つブタへの麻酔の基礎知識』  
酒井 俊和（藤田保健衛生大学）

---

### 教育セミナー 2 10月10日(土) 10:45～12:00 E会場(10階 1002)

---

座長：樺木 勝巳（岡山大学自然生命科学研究支援センター）  
『丸ごとのイメージング～免疫細胞の動く世界の解析～』  
菊田 順一（大阪大学大学院医学系研究科）

## 7. サテライト・アフタヌーンセミナー

---

### 10月8日(木) 16:00～18:00 B会場(10階 1001-2)

---

座長：坂本 雄二（千寿製薬株式会社）  
小山 公成（アステラスリサーチテクノロジー株式会社）  
“3Rsの推進”実験動物の苦痛管理と麻酔  
『製薬企業における実験動物の苦痛管理への取り組み』  
渡邊 利彦（中外製薬株式会社）  
『大学における実験動物の苦痛管理への取り組み』  
小藪 望（大阪大学）  
『三種混合麻酔薬の現在（メリットと今後の利用定着に向けての課題）』  
桐原 由美子（島根大学）

## 8. Well-being ひろば

---

### 10月9日(金) 9:00～18:00、10月10日(土) 9:00～14:00 大ホール ホワイエ(1階 海)

---

## 9. ランチョンセミナー

10月9日(金) 11:45～12:45

### 株式会社 OSG コーポレーション／C 会場 (10 階 1001-1)

『「実験動物施設での微酸性水利用の応用」 ～衛生管理と飲用水～』

竹内 正浩 (株式会社 OSG コーポレーション衛生環境システム部)

### 株式会社夏目製作所／D 会場 (9 階 910)

座長：田中 勝 (夏目製作所 営業部)

『マウス・ラットの麻酔法と安楽死法の実際』

岡村 匡史 (国立国際医療研究センター研究所感染症制御研究部ヒト型動物開発研究室)

### 日本チャールス・リバー株式会社／E 会場 (10 階 1002)

『日本チャールス・リバー(株)の実験動物福祉教育』

川西 正彦 (日本チャールス・リバー(株)品質保証部)

10月10日(土) 12:00～13:00

### オリエンタル酵母工業株式会社／C 会場 (10 階 1001-1)

座長：塩谷 恭子 (国立循環器病研究センター)

『医薬品・医療機器開発におけるミニブタの有用性』

矢吹 慎也 (オリエンタル酵母工業株式会社)

### 赤門ウイレックス株式会社／D 会場 (9 階 910)

『ダクトの清掃について』

堀内 恒彦 (赤門ウイレックス PM 事業部)

### 日本エスエルシー株式会社／E 会場 (10 階 1002)

座長：加藤 哲男 (日本エスエルシー株式会社営業部)

『担ガンマウスの作製とその特徴』

野崎 祐次 (日本エスエルシー株式会社受託試験部)

『病態モデル動物(薬物誘発関節炎、腎臓摘出)のご紹介』

金田 康秀 (日本エスエルシー株式会社受託試験部)

## 10. ホスピタリティールーム

### 日本チャールス・リバー株式会社

10月9日(金) 9:00～10月10日(土) 14:00 大ホール 控室1 (1 階 海)

## 11. 関連集会

静岡実験動物研究会

10月10日(土) 13:30～17:30 B会場(10階1001-2)

### タイムスケジュール

13:30～13:55 総会(静岡実験動物研究会会員のみ)

13:55～14:10 休憩

〈以降、静岡実験動物研究会会員以外も聴講可能〉

14:10～15:15 特別講演

15:15～15:25 休憩

15:25～16:20 研究発表①

16:20～16:30 休憩

16:30～17:20 研究発表②

17:20～17:30 閉会挨拶

※なお、研究発表①②の抄録は当日会場入口にて配布します

### 静岡実験動物研究会主催特別講演

10月10日(土) 14:10～15:15

座長：石川 智久(静岡県立大学薬学部薬学科)

『環境エンリッチメント、その導入と実践に実験動物技術者が果たす役割』

池田 卓也

## 12. 実験動物関連器材・商品の展示会

期間：10月9日(金) 9:00～18:00

10月10日(土) 9:00～14:00

会場：1階 大ホール海

## 13. 懇親会

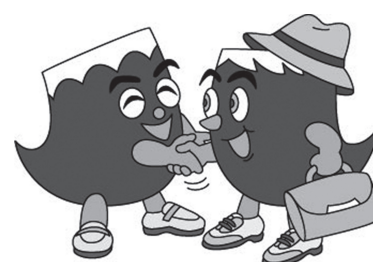
10月9日(金) 18:30～20:30

会場：グランシップ6階 交流ホール

静岡の名物を用意しています。ぜひお越しください。

「**Well-being** ひろば」3Rsポスターの受賞式を行います。

次回第50回総会の大会長挨拶を行います。



ふじっぴー © 静岡県

## グランシップまでの交通案内

### ◎公共交通機関でお越しの方

#### ■ JRでお越しの方

東海道新幹線（ひかり） 東京から1時間／新大阪から2時間、静岡駅下車



東海道本線 上り方面に乗換、東静岡駅まで約3分



東静岡駅南口からメインエントランスまで徒歩約3分

#### ■ 静鉄でお越しの方

##### ●静岡鉄道

新静岡駅から6分／新清水駅から14分、長沼駅下車



JR 東静岡駅コンコース通過、南口出口まで徒歩約7分



メインエントランスまで徒歩約3分

##### ●静鉄バス（日本平線、県立美術館線）

静岡駅前（11番乗り場）から約10分



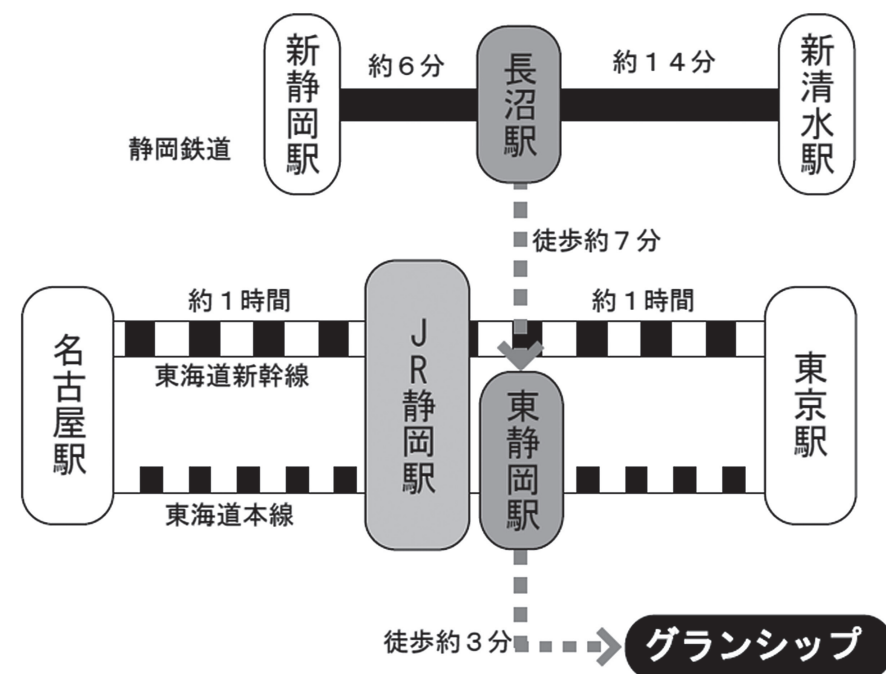
東静岡駅南口下車、メインエントランスまで徒歩約3分

#### ■ 富士山静岡空港ご利用の場合

静鉄バス（静岡エアポートライナー） 富士山静岡空港から静岡駅まで約55分



東海道本線 上り方面に乗換、東静岡駅まで約3分



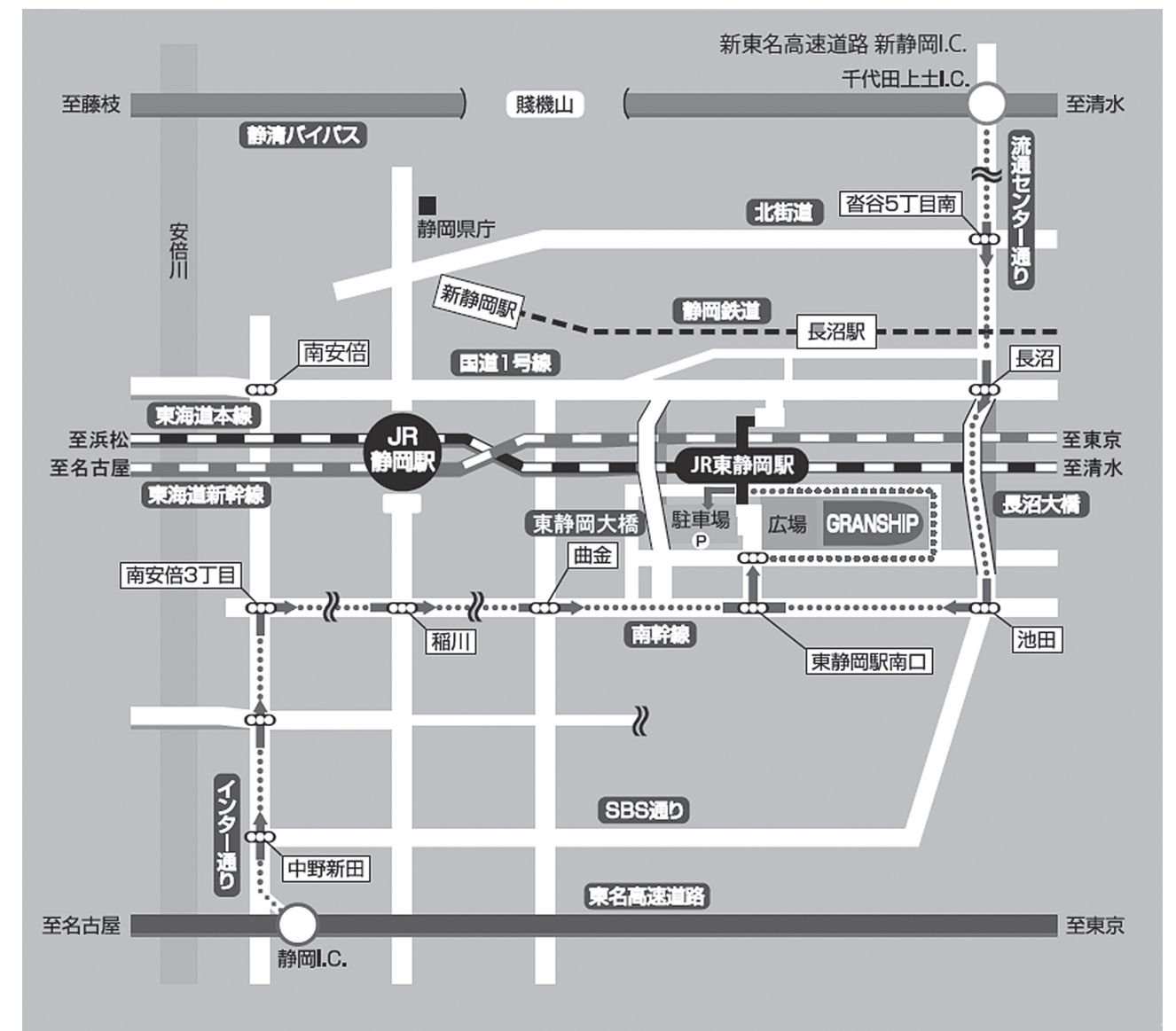
### ◎お車でお越しの場合

■ 東名高速道路 静岡 I.C. から 6km、車で約 20 分

■ 新東名高速道路 新静岡 I.C. から 9km、車で約 15 分

■ 静清バイパス 千代田上土 I.C. から 4km、車で約 10 分

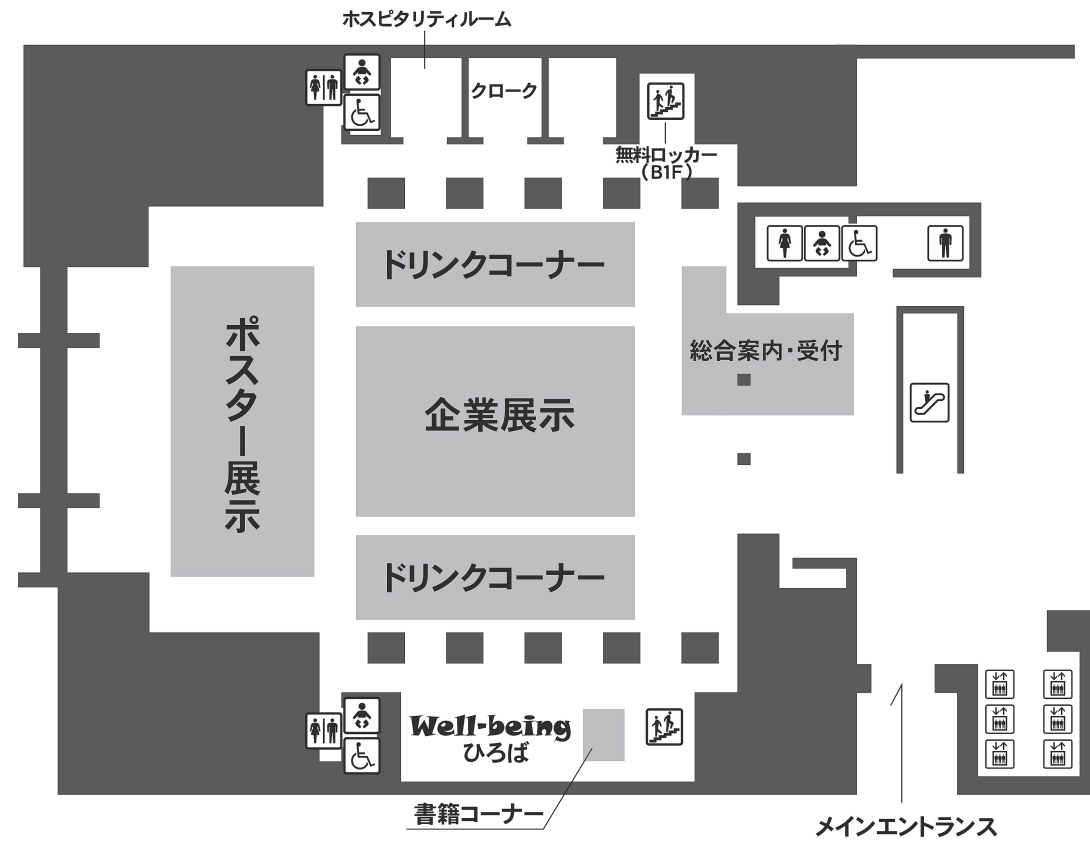
※駐車場はございますが、催事によって満車となる場合がございますので、公共交通機関のご利用にご協力をお願い致します。



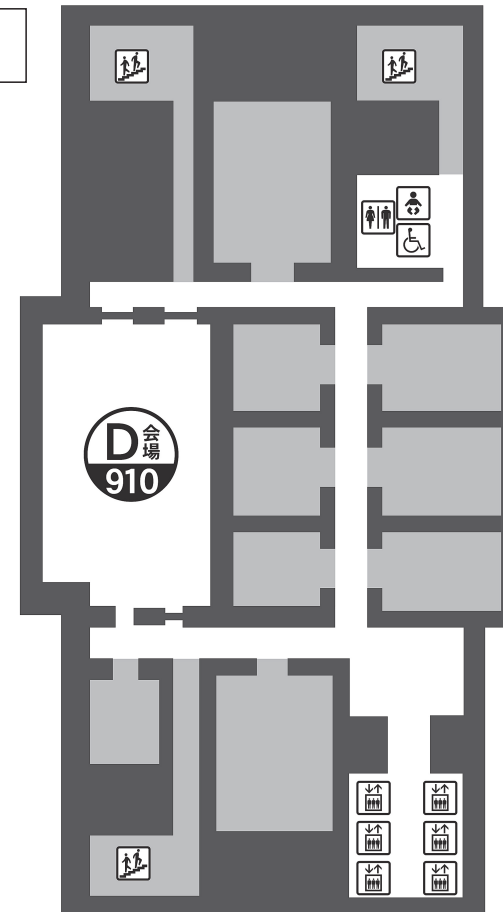


# 会場案内図

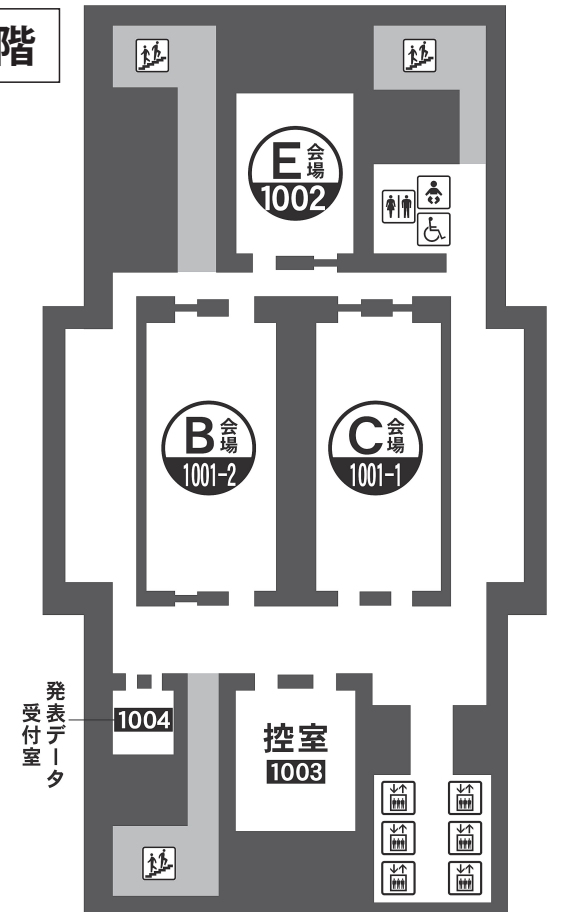
1 階



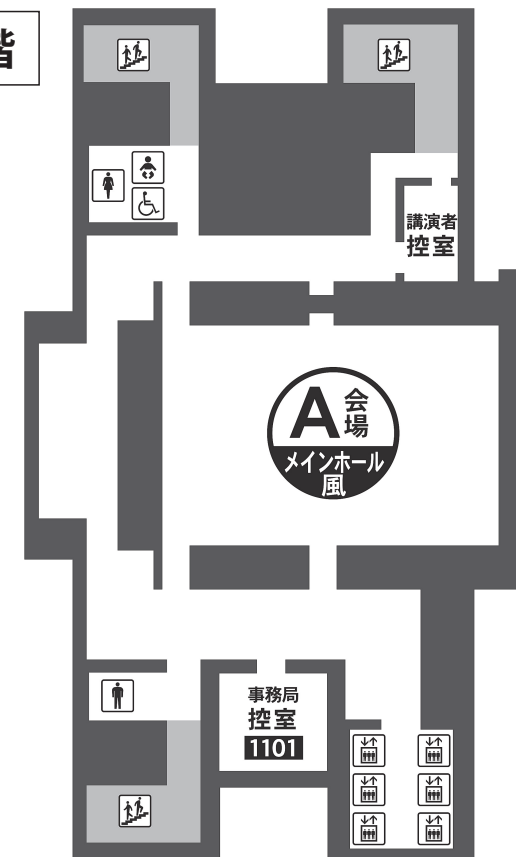
9 階



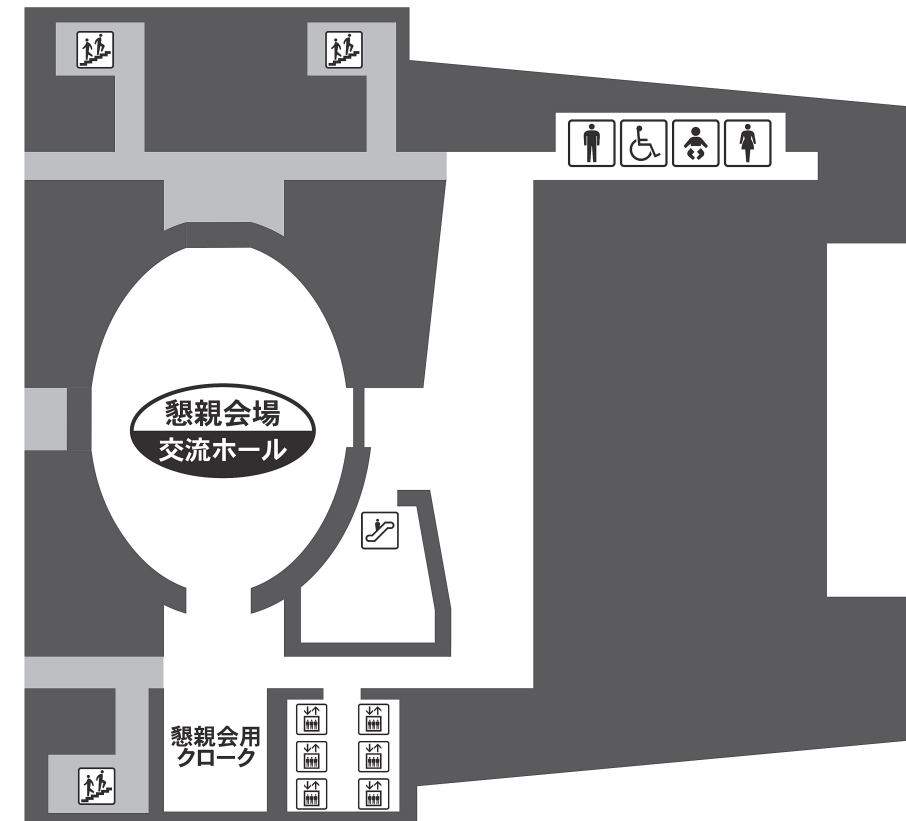
10 階



11 階



6 階





総会日程表

10月8日(木)

| 10F                                     |                    |
|-----------------------------------------|--------------------|
| 1001-2室                                 | 1002室              |
| B会場                                     | E会場                |
|                                         | 13:30～16:00<br>理事会 |
| 16:00～18:00<br>サテライト・<br>アフタヌーン<br>セミナー |                    |

10月9日(金)

1日目サブテーマ:「動物の生命(いのち)」

| 11F<br>メインホール 風 | 10F                                               |                                                 |                                                 | 9F<br>910室                                | 1F                         |                  |                         | 10F<br>1003室                        |
|-----------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------|------------------|-------------------------|-------------------------------------|
| A会場             | 1001-2室<br>B会場                                    | 1001-1室<br>C会場                                  | 1002室<br>E会場                                    | D会場                                       | 大ホール 海<br>ポスター展示           | 大ホール 海<br>器材展示会場 | 大ホール 海<br>Well-beingひろば | 控室                                  |
| 9:00            |                                                   |                                                 |                                                 |                                           | 9:00～10:00<br>ポスター<br>掲示準備 | 9:00～18:00       | 9:00～18:00              |                                     |
| 10:00           | 9:40 開会の辞<br>9:45～11:15<br>特別講演                   |                                                 |                                                 |                                           | 10:00～18:00                |                  |                         |                                     |
| 11:00           |                                                   | 11:25～12:40<br>評議委員会                            |                                                 |                                           |                            |                  |                         |                                     |
| 12:00           |                                                   | 11:45～12:45<br>ランチョンセミナー<br>株式会社OSGコー<br>ポレーション | 11:45～12:45<br>ランチョンセミナー<br>日本チャールス・<br>リバー株式会社 | 11:45～12:45<br>ランチョンセミナー<br>株式会社<br>夏目製作所 |                            |                  |                         |                                     |
| 13:00           | 13:00～15:00<br>第49回総会<br>各種表彰式<br>業界アワード<br>研究奨励賞 |                                                 |                                                 |                                           |                            |                  |                         |                                     |
| 14:00           |                                                   |                                                 |                                                 |                                           |                            |                  |                         |                                     |
| 15:00           | 15:00～17:00<br>シンポジウム<br>I                        |                                                 |                                                 |                                           |                            |                  |                         | 15:00～17:00<br>編集部・<br>査読委員<br>合同会議 |
| 16:00           |                                                   |                                                 |                                                 |                                           |                            |                  |                         |                                     |
| 17:00           |                                                   | 17:00～18:10<br>一般演題<br>B-1～6                    | 17:00～18:10<br>一般演題<br>C-1～6                    |                                           |                            |                  |                         |                                     |
| 18:00           |                                                   |                                                 |                                                 |                                           |                            |                  |                         |                                     |
| 19:00           | 18:30～20:30<br>懇親会<br>6F 交流ホール                    |                                                 |                                                 |                                           |                            |                  |                         |                                     |
| 20:00           |                                                   |                                                 |                                                 |                                           |                            |                  |                         |                                     |

10月10日(土)

2日目サブテーマ:「動物福祉を実現するために人間ができること」

| 11F<br>メインホール 風 | 10F                          |                                                                                                                                               |                                                | 9F<br>910室                                   | 1F                                            |                          |                         | 10F<br>1003室                          |
|-----------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------------------------|
| A会場             | 1001-2室<br>B会場               | 1001-1室<br>C会場                                                                                                                                | 1002室<br>E会場                                   | D会場                                          | 大ホール 海<br>ポスター展示                              | 大ホール 海<br>器材展示会場         | 大ホール 海<br>Well-beingひろば | 控室                                    |
| 9:00            | 9:15～10:15<br>静岡記念<br>特別講演   | 9:15～10:25<br>一般演題<br>B7～12                                                                                                                   | 9:15～10:25<br>一般演題<br>C7～12                    | 9:15～10:35<br>教育セミナー1                        |                                               | 9:00～13:30<br>ポスター<br>展示 | 9:00～14:00<br>器材展示      | 9:00～14:00<br>Well-being<br>ひろば       |
| 10:00           | 10:15～12:00<br>シンポジウム<br>II  |                                                                                                                                               |                                                |                                              |                                               |                          |                         |                                       |
| 11:00           |                              | 10:45～12:00<br>教育講演2                                                                                                                          |                                                | 10:45～12:00<br>教育セミナー2                       |                                               |                          |                         |                                       |
| 12:00           |                              | 12:00～13:30<br>静岡実験動物<br>研究会総会<br>受付                                                                                                          | 12:00～13:00<br>ランチョンセミナー<br>オリエンタル酵母<br>工業株式会社 | 12:00～13:00<br>ランチョンセミナー<br>日本エスエルシー<br>株式会社 | 12:00～13:00<br>ランチョンセミナー<br>赤門ウイレックス<br>株式会社  |                          |                         | 12:00～13:15<br>静岡実験<br>動物研究会<br>役員幹事会 |
| 13:00           | 13:15～15:15<br>シンポジウム<br>III | 13:30～17:30<br>静岡実験動物<br>研究会<br>13:30～<br>静岡実験動物<br>研究会総会<br>(会員のみのみ)<br>14:10～<br>特別講演<br>(会員以外の聴<br>講可)<br>15:25～<br>研究発表<br>(会員以外の聴<br>講可) | 13:15～14:35<br>教育講演1                           |                                              | 13:00～13:30<br>コアタイム<br>13:30～14:00<br>ポスター撤去 |                          |                         |                                       |
| 14:00           |                              |                                                                                                                                               |                                                |                                              |                                               | 14:00～<br>器材撤出・<br>撤去    | 14:00～<br>撤去            |                                       |
| 15:00           | 15:15～<br>閉会挨拶               |                                                                                                                                               |                                                |                                              |                                               | :                        | :                       |                                       |
| 16:00           |                              |                                                                                                                                               |                                                |                                              |                                               |                          |                         |                                       |
| 17:00           |                              |                                                                                                                                               |                                                |                                              |                                               | :                        | :                       |                                       |
| 18:00           |                              |                                                                                                                                               |                                                |                                              |                                               |                          |                         |                                       |

## 口頭発表

10月9日(金) B会場

### 繁殖・発生工学

17:00～17:35 座長 江藤 智生 (公益財団法人実験動物中央研究所)

**B-1 ルーチンワークにおけるマウス生殖工学技術のキーポイントおよびデータ管理ソフト**

○宮川 あい<sup>1,2</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、山本 由妃<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>

(1: 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2: 九動株式会社)

**B-2 CRISPR/Cas9 システムを利用した新規 W 系統の確立**

○宮地 均<sup>1</sup>、北野 さつき<sup>1</sup>、伊藤 克彦<sup>2</sup>、生田 宏一<sup>1</sup>

(1: 京都大学 ウイルス研究所、2: 京都大学大学院 医学研究科)

**B-3 BSA のロットの違いがラット体外受精に与える影響**

○金井 富三夫<sup>1</sup>、多田 昇弘<sup>2</sup>

(1: 順天堂大学 大学院医学研究科 疾患モデル研究センター 遺伝子解析モデル研究室、2: 順天堂大学 大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター)

### モデル動物、実験手技・代替、栄養

17:35～18:10 座長 若松 真矢 (株式会社新日本科学安全性研究所)

**B-4 コモンマウスセットを用いた脊髄損傷モデルの作製 –インパクト強度による症候発現の検討–**

○西中 栄子、西銘 千代子、井上 亮、井上 貴史、岡原 則夫、堤 秀樹

(公益財団法人 実験動物中央研究所)

**B-5 麻酔下ラットの心電図および呼吸運動記録の工夫**

○片平 清昭、山本 裕子、小澤 和典

(福島県立医科大学 医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター 動物実験分野)

**B-6 高脂肪食とショ糖飲水投与がマウスの肥満、耐糖能に与える影響**

○簗島 萌子<sup>1</sup>、佐子田 嘉明<sup>1</sup>、加藤 信人<sup>1</sup>、影山 靖<sup>2</sup>

(1: 日本配合飼料株式会社 中央研究所、2: 日本クレア株式会社)

## 口頭発表

10月9日(金) C会場

### 管理・施設

17:00～17:35 座長 中井 恒弘 (株式会社ケー・エー・シー)

**C-1 実験動物施設運営面における感染防止の工夫 –福島県立医科大学の事例**

○遊佐 寿恵<sup>1</sup>、若井 淳<sup>1</sup>、関口 美穂<sup>1,2</sup>、片平 清昭<sup>2</sup>

(1: 福島県立医科大学 医学部 実験動物研究施設、2: 福島県立医科大学 医療－産業 TR センター・動物実験分野)

**C-2 実験動物施設における二酸化塩素ガス滅菌法の運用**

○野田 義博<sup>1</sup>、宮澤 優衣<sup>1,2</sup>、前川 尚子<sup>1,2</sup>、時間 真治<sup>1,2</sup>、高橋 洋子<sup>1,2</sup>、遠藤 玉夫<sup>1</sup>

(1: 東京都健康長寿医療センター 研究所 実験動物施設、2: 株式会社ケー・エー・シー)

**C-3 多頭数カニクイザル飼育施設における大腸バランチジウム対策について**

○荒川 大地<sup>1,2</sup>、浅野 貴大<sup>1,2</sup>、中川 孝博<sup>2</sup>、河本 育士<sup>2</sup>、板垣 伊織<sup>2,3</sup>、土屋 英明<sup>2</sup>、中村 紳一郎<sup>2</sup>

(1: 株式会社ケー・エー・シー、2: 滋賀医科大学、3: 一般社団法人 予防衛生協会)

**17:35～18:10 座長 瀧田 恵美 (愛知医科大学)**

**C-4 飼育管理下のカニクイザルにおける口内環境の推移と改善方法の検討**

○疋田 将崇<sup>1,2</sup>、藤田 佳久<sup>1</sup>、河本 育士<sup>2</sup>、板垣 伊織<sup>2,3</sup>、土屋 英明<sup>2</sup>

(1: 株式会社ケー・エー・シー、2: 滋賀医科大学 動物生命科学センター、3: 一般社団法人 予防衛生協会)

**C-5 微酸性次亜塩素酸水を用いた施設内衛生管理方法及び消毒効果について**

○富田 耕平<sup>1</sup>、小木曾 昇<sup>2</sup>、高野 聡美<sup>2</sup>、山口 一路<sup>1</sup>、六車 香織<sup>2</sup>

(1: 株式会社ケー・エー・シー、2: 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室)

**C-6 e-learning による動物実験教育訓練知識確認テストの実施**

○矢田 範夫<sup>1,2</sup>、上藤 千佳<sup>1,2</sup>、平山 晴子<sup>1,2</sup>、樺木 勝巳<sup>1,2</sup>

(1: 岡山大学 自然生命科学研究支援センター 動物資源部門、2: 岡山大学動物実験委員会)

## 口頭発表

**10月10日(土) B会場**

### 動物福祉、実験手技・代替

**9:15～9:50 座長 荒川 仁 (株式会社中外医科学研究所)**

**B-7 ILARの指針に準拠した飼育環境への改善 (金網床ケージにおけるトレイおよび床敷を用いた飼育)**

○持田 隆信、各務 進、横山 悦子、佐塚 絢香、伊藤 由香、寺田 貴子、佐伯 雄輔、竹原 広

(公益財団法人 食品農医薬品安全性評価センター)

**B-8 ブタを用いた初期研修医の外科手術トレーニング**

ー東北大学病院先端医療技術トレーニングセンターの紹介ー

○末田 輝子<sup>1</sup>、柏山 浩<sup>1</sup>、及川 恵美<sup>1</sup>、橋本 信子<sup>1</sup>、三好 一郎<sup>1</sup>、笠井 憲雪<sup>2</sup>

(1: 東北大学 大学院 医学系研究科 附属動物実験施設、2: 東北大学動物実験センター)

**B-9 加齢・老化モデルマウスを用いた動物福祉に配慮した飼育環境の検討 ー床敷材の観点からー**

○小木曾 昇<sup>1</sup>、富田 耕平<sup>2</sup>、山口 一路<sup>2</sup>、高野 聡美<sup>1</sup>、六車 香織<sup>1</sup>

(1: 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室、2: 株式会社ケー・エー・シー)

9:50～10:25 座長 石田 有香 (国立研究開発法人放射線医学総合研究所)

**B-10 免疫抑制剤投与に伴ったカニクイザル糖尿病の発生と対応**

○小藪 望<sup>1</sup>、福田 肇<sup>1</sup>、橋川 美子<sup>1</sup>、梶川 幸子<sup>1</sup>、水野 洋子<sup>2</sup>、金子 司郎<sup>2</sup>、田島 優<sup>1,2</sup>

(1: 大阪大学大学院 医学系研究科 附属最先端医療イノベーションセンター 中大動物実験施設、2: 大阪大学 医学部 附属動物実験施設)

**B-11 ケージ交換時のハンドリングは実験用マウスの表現型に影響を与えるか?**

○小野 麻衣子<sup>1</sup>、佐々木 隼人<sup>4</sup>、長崎 健一<sup>5</sup>、鳥越 大輔<sup>6</sup>、市居 修<sup>2</sup>、佐々木 宣哉<sup>4</sup>、安居院 高志<sup>3</sup>

(1: 北海道大学 大学院獣医学研究科 動物施設、2: 北海道大学 大学院獣医学研究科 解剖学教室、3: 北海道大学 大学院獣医学研究科 実験動物学教室、4: 北里大学 獣医学部 実験動物学研究室、5: 一般財団法人 日本食品分析センター 千歳研究所、6: 熊本大学 生命資源研究・支援センター)

**B-12 東北大学における「実験動物取り扱い実技講習会」について**

○吉田 弥生<sup>1</sup>、小林 秀昭<sup>1</sup>、笠井 憲雪<sup>1</sup>、末田 輝子<sup>2</sup>、大竹 誠一<sup>2</sup>、三好 一郎<sup>2</sup>

(1: 東北大学 動物実験センター、2: 東北大学大学院 医学系研究科附属動物実験施設)

## 口頭発表

10月10日(土) C会場

### 管理・施設、微生物

9:15～9:50 座長 伊藤 恒賢 (山形大学)

**C-7 加齢・老化モデルマウスを用いた動物福祉に配慮した飼育環境の検討**

ー給水瓶内の生菌数の変化についてー

○山口 一路<sup>1</sup>、富田 耕平<sup>1</sup>、武田 薫<sup>1</sup>、高野 聡美<sup>2</sup>、六車 香織<sup>2</sup>、小木曾 昇<sup>2</sup>

(1: 株式会社ケー・エー・シー、2: 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室)

**C-8 動物実験施設の大規模改修時におけるプレハブ仮設飼育施設の概要と飼育管理**

○菅 尚登<sup>1</sup>、藤澤 美菜子<sup>2</sup>、大瀧 越騎<sup>1</sup>、平間 絵理<sup>1</sup>、西出 円<sup>1</sup>、越山 隆恵<sup>1</sup>、石川 季子夫<sup>1</sup>、遠藤 幸夫<sup>1</sup>、川合 祐典<sup>1</sup>、土佐 紀子<sup>1</sup>、有川 二郎<sup>1</sup>

(1: 北海道大学 大学院医学研究科 附属動物実験施設、2: 三協ラボサービス(株))

**C-9 実験動物の逸走防止と作業環境を考慮した小型床敷回収装置**

○藤田 順一<sup>1</sup>、高山 世絵梨<sup>1</sup>、松本 明<sup>2</sup>、榊原 寿光<sup>3</sup>、大林 茂男<sup>3</sup>、内田 圭<sup>3</sup>、佐藤 央爾<sup>3</sup>、金子 岳<sup>4</sup>、石井 敬基<sup>1,2</sup>

(1: 日本大学 医学部 医学研究支援部門、2: 日本大学 医学部 医学研究企画・推進室、3: (株)三幸、4: (有)新東洋製作所)

9:50～10:25 座長 野口 和浩 (熊本大学)

**C-10 ～新規施設の紹介～**

大阪大学大学院医学系研究科 附属最先端医療イノベーションセンター中大動物実験施設

○福田 肇、小藪 望、橋川 美子、梶川 幸子、水野 洋子、田島 優

(大阪大学大学院 医学系研究科 附属最先端医療イノベーションセンター 中大動物実験施設)

- C-11 *Helicobacter* 属菌のモニタリング検査用サンプルの輸送簡易化における FTA カードの有用性の検討  
 ○内田 立樹<sup>1</sup>、森田 華子<sup>2</sup>、田中 舞<sup>2</sup>、石山 沙也香<sup>2</sup>、保田 昌彦<sup>3</sup>、石田 智子<sup>2</sup>、山本 美保<sup>4</sup>、  
 林元 展人<sup>2</sup>  
 (1: 株式会社ジェー・エー・シー、2: 公益財団法人 実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター、  
 3: 公益財団法人 実験動物中央研究所 病理解析センター、4: WDB 株式会社)
- C-12 *Corynebacterium bovis* 検出方法の検討 ―培養手法による検出―  
 ○川口 彩子<sup>1</sup>、久保村 華子<sup>1</sup>、藤田 春美<sup>1</sup>、菊地 真由美<sup>2</sup>、丸山 滋<sup>1</sup>  
 (1: 日本チャールス・リバー株式会社 モニタリングセンター、2: 無所属)

## ポスター

### 掲 示

10月9日(金) 10:00～10月10日(土) 13:30

フリーディスカッションコアタイム

10月10日(土) 奇数番号／13:00～13:15 偶数番号／13:15～13:30

### 管理・施設

- P-1 岡山大学における子育て支援制度とその利用の実態 ～契約職員の立場から～  
 ○石原 すみれ、平山 晴子、矢田 範夫、樺木 勝巳  
 (岡山大学 自然生命科学研究支援センター 動物資源部門)
- P-2 飼育ラック内のアンモニア濃度の変動について  
 ○羽根田 千江美、長尾 静子  
 (藤田保健衛生大学 疾患モデル教育研究センター)
- P-3 *Pasteurella pneumotropica* 感染後の対応について ―ソフト酸化水を使用したクリーニング操作の検討―  
 ○長原 美樹<sup>1</sup>、上田 潤<sup>1</sup>、松永 歩<sup>2</sup>、石坂 みゆき<sup>2</sup>、上瀬 菜美<sup>2</sup>、藤田 芳顕<sup>1</sup>、岩本 隆司<sup>1,2</sup>  
 (1: 中部大学 実験動物教育研究センター、2: 中部大学 生命健康科学部 生命医科学科)
- P-4 遺伝子組換え動物における床敷処理方法の工夫  
 ○宇都宮 史人、水谷 智未、小椋 大成、小山 公成  
 (アステラスリサーチテクノロジー株式会社)

### 実験手技・代替

- P-5 溶血性試験に使用する動物の週齢延長の検討  
 ○駒野 紗織、渡辺 千朗、田面 喜之、村田 龍介、白見 亜紀、横田 世奈、下澤 和廣、山脇 智予、  
 宿野部 和一  
 (一般財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所)
- P-6 組織破碎処理 (BioMasher) 法による各動物由来冷凍組織からの遺伝資源回収操作の検討  
 ○東 里香<sup>1</sup>、高見 一利<sup>2</sup>、宮下 実<sup>4</sup>、永井 宏平<sup>3</sup>、梶本 みずき<sup>3</sup>、井上 達也<sup>3</sup>、細井 美彦<sup>1,3,4</sup>、  
 安齋 政幸<sup>4</sup>  
 (1: 近畿大学大学院 生物理工学研究科、2: 大阪市天王寺動物公園事務所、3: 近畿大学生物理工学部、  
 4: 近畿大学先端技術総合研究所)

- P-7 **NZW ウサギを用いた簡便な血圧測定法について**  
○小泉 美穂、宮川 佳彦、山中 正史、大西 直子、金井 孝夫  
(東京女子医科大学 実験動物中央施設)
- P-8 **眼刺激性試験における局所麻酔点眼薬および全身性鎮痛薬の試験成績への影響について**  
○小楠 麻未、佐伯 雄輔、岡村 孝之、小田桐 由加里、各務 進、持田 隆信、竹原 広、田中 亮太  
(公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター)
- P-9 **ラットにおける肝動脈連続投与法を用いたドキソルビシンの抗腫瘍効果の検討**  
○河原 礼史、田中 祥之  
(沢井製薬株式会社 生物研究部 生化学グループ)
- P-10 **外頸静脈反復採血が血液学的検査および血中ホルモン濃度に及ぼす影響  
ー 2 種の近交系ラットを用いた検討ー**  
○田面 喜之<sup>1</sup>、大向 英夫<sup>1</sup>、根倉 司<sup>1</sup>、藤平 篤志<sup>2</sup>、太田 亮<sup>1</sup>  
(1: 一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所、2: 日本獣医生命科学大学 実験動物学教室)

## 解剖・組織・発生

- P-11 **異なるイメージング装置を用いたマウスの加齢による形態学的変化の比較**  
○若井 淳<sup>1</sup>、弓田 周平<sup>2</sup>、遊佐 寿恵<sup>1</sup>、関口 美穂<sup>1,2</sup>、片平 清昭<sup>2</sup>  
(1: 福島県立医科大学 医学部 附属実験動物研究施設、2: 福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター)

## 育種・遺伝

- P-12 **Cataract/Nakano マウスの繁殖コロニーの確立について**  
○田邊 瑠里子、森石 永子、佐々木 光穂、河相 晶子、中野 正文、小浦 美奈子、鈴木 治、松田 潤一郎  
(医薬基盤 健康 栄養研究所 疾患モデル小動物研究室)

## 繁殖・発生工学

- P-13 **熊本大学 CARD 有償マウスバンクシステムによるマウス系統維持管理の効率化**  
○岩本 まり<sup>1</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、  
梅野 智子<sup>1,2</sup>、宮川 あい<sup>1,2</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、山本 由妃<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、  
竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
(1: 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2: 九動株式会社)
- P-14 **アメリカ Roswell Park Cancer Institute における国際マウス生殖工学技術研修会の開催**  
○春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、  
宮川 あい<sup>1,2</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、Kristy Kinchen<sup>3</sup>、  
Aimee Stablewski<sup>4</sup>、Jan Parker-Thornburg<sup>5</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
(1: 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2: 九動株式会社、3: CHRI, Gainesville, FL、4: Roswell Park Cancer Institute, Buffalo, NY、5: MD Anderson Cancer Center, Houston, TX)



- P-15 様々な凍結法による凍結マウス胚の融解後の成績について**  
○近藤 朋子<sup>1,2</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、  
宮川 あい<sup>1,2</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、山本 由妃<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、  
竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
(1：熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2：九動株式会社)
- P-16 CARD レスキュー法 (CARD 法以外で凍結された精子を用いた体外受精) の改良**  
○中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、  
宮川 あい<sup>1,2</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、山本 由妃<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、  
竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
(1：熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2：九動株式会社)
- P-17 繁殖困難なマウス系統への生殖工学技術の応用**  
○梅野 智子<sup>1,2</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、  
宮川 あい<sup>1,2</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、山本 由妃<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、  
竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
(1：熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2：九動株式会社)
- P-18 マウス凍結精子を用いた体外受精における方法順守の重要性**  
○竹下 由美<sup>1,2</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、  
宮川 あい<sup>1,2</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、山本 由妃<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、  
竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
(1：熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2：九動株式会社)
- P-19 マウス体外成熟培地への EUK-8 添加が卵子細胞質機能の維持に与える影響**  
○安齋 政幸<sup>1,3</sup>、野田 義博<sup>2</sup>、東 里香<sup>3</sup>、井上 達也<sup>4</sup>、梶本 みずき<sup>4</sup>、細井 美彦<sup>1,3,4</sup>  
(1：近畿大学 先端技術総合研究所、2：(地独) 東京都健康長寿医療センター 研究所 実験動物施設、3：近  
畿大学大学院、4：近畿大学 生物理工学部)
- P-20 C57BL/10-mdx マウスの自然交配と胚移植による計画生産の検討**  
○水澤 卓馬<sup>1</sup>、小倉 智幸<sup>1</sup>、後藤 元人<sup>1</sup>、何 裕遥<sup>1</sup>、富山 佳代<sup>1</sup>、保田 昌彦<sup>1</sup>、後藤 貴之<sup>1</sup>、  
日置 恭司<sup>1</sup>、高橋 利一<sup>1</sup>  
(1：公益財団法人 実験動物中央研究所、2：日本クレア株式会社)
- P-21 マウスにおける超過排卵誘起法**  
○中潟 直己<sup>1</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、  
梅野 智子<sup>1,2</sup>、宮川 あい<sup>1,2</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、  
山本 由妃<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>  
(1：熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2：九動株式会社)
- P-22 BMY 法を用いたマウス人工授精における新鮮精子と凍結精子との比較**  
○伊藤 恒賢、尾崎 順子、福田 直樹、須藤 まゆみ、田中 大資、藤井 順逸  
(山形大学 医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター)
- P-23 体外受精由来近交系ラット初期胚の体外培養の検討**  
○江藤 智生、上迫 努  
(公益財団法人 実験動物中央研究所)



## 生理・生化学

- P-24 ラットにおける伝承的な天然原料抽出物の乳汁分泌促進効果の検討  
○川上 浩平<sup>1</sup>、竹田 竜嗣<sup>2</sup>、沢辺 昭義<sup>2</sup>、山田 高也<sup>1</sup>  
(1: 島根大学 研究機構 総合科学研究支援センター 実験動物部門、2: 近畿大学 農学部 応用生命化学科)

## 薬理・安全性

- P-25 デキストラン硫酸ナトリウム誘発マウス潰瘍性大腸炎の検討  
ー潰瘍性大腸炎誘発までの経日変化についてー  
○美濃部 典子、松田 仁美、木村 輝理、木村 恵人  
(日精バイリス株式会社 滋賀研究所 研究部)

## 微生物

- P-26 原虫感染マウスに対するメトロニダゾールによる駆除効果の検討 (第2報)  
○井上 吉浩<sup>1</sup>、飛内 章子<sup>2</sup>、石橋 崇<sup>1</sup>、工藤 洋平<sup>1</sup>、松居 靖久<sup>1</sup>  
(1: 東北大学 加齢医学研究所 実験動物管理室、2: 東北大学 加齢医学研究所 遺伝子導入研究分野)
- P-27 実験動物施設の霊長類動物における下痢原性大腸菌の疫学調査研究  
○王 振吉<sup>1,2,3</sup>、神谷 絵美<sup>1,2</sup>、本多 千佳<sup>1,2</sup>、伊藤 昭光<sup>1,2</sup>、廣江 猛<sup>1,2</sup>、窪田 美津子<sup>1,2</sup>、浦野 徹<sup>1,2</sup>  
(1: 自然科学研究機構 生理学研究所、2: 自然科学研究機構 動物実験センター、3: 国立大学法人総合研究大学院大学 生理学研究所)
- P-28 長崎大学動物実験施設における導入時検疫及び感染症対応について  
○山本 直土、久保 憲昭、坂本 雅志、金子 末廣、大沢 牧子、松田 ちあき、山中 仁木、大沢 一貴  
(長崎大学 先端生命科学研究支援センター 比較動物医学分野 (動物実験施設))
- P-29 *Corynebacterium bovis* 検出方法の検討 ーPCR と培養の比較ー  
○久保村 華子<sup>1</sup>、川口 彩子<sup>1</sup>、藤田 春美<sup>1</sup>、菊池 真由美<sup>2</sup>、丸山 滋<sup>1</sup>  
(1: 日本チャールス・リバー株式会社 モニタリングセンター、2: 無所属)

## モデル動物

- P-30 急速進行性糸球体腎炎モデル SCG/ThpNkc マウス凍結胚の復元率及び繁殖コロニーの確立について  
○河相 晶子<sup>1</sup>、小浦 美奈子<sup>1</sup>、中野 正文<sup>1</sup>、田邊 瑠里子<sup>1</sup>、鈴木 治<sup>1</sup>、松田 潤一郎<sup>1</sup>、鈴木 和男<sup>2</sup>、  
亀岡 洋祐<sup>2</sup>  
(1: 医薬基盤 健康 栄養研究所 疾患モデル小動物研究室、2: A-CLIP 研究所)
- P-31 MSHRSP/Kpo における血圧と生存率、臓器重量の変動および他 SHR 系統との比較  
○堀 奈津美<sup>1</sup>、水口 信行<sup>2</sup>、加藤 貴史<sup>3</sup>、稲瀬 正彦<sup>4</sup>  
(1: 株式会社ジェー・エー・シー、2: 近畿大学医学部 実験動物共同研究室、3: 近畿大学医学部 薬理学教室、  
4: 近畿大学医学部 生理学教室)

## 動物福祉

- P-32 C57BL/6J 系マウスの長期飼育におけるエンリッチメント器具の有効性について  
○桐原 由美子<sup>1</sup>、武智 真由美<sup>1</sup>、黒崎 薫<sup>1</sup>、齋藤 洋司<sup>2</sup>、小林 裕太<sup>3</sup>  
(1: 島根大学 研究機構 総合科学研究支援センター 実験動物部門、2: 島根大学 医学部 麻酔科学講座、3: 島根大学 医学部 基礎看護学講座)
- P-33 マウスにおけるエンリッチメントに関する検討  
○井原 直樹、吉田 雅信、中津 勇、後藤 浩彦  
(大塚製薬株式会社 徳島研究所 毒性研究部)
- P-34 動物福祉を考慮したイヌ飼育装置の試作  
○寺門 一郎<sup>1</sup>、内田 晃<sup>1</sup>、中村 紳一朗<sup>1</sup>、藤原 三郎<sup>2</sup>、土屋 英明<sup>1</sup>  
(1: 滋賀医科大学 動物生命科学研究センター、2: バイオニック)
- P-35 イヌの群飼育への移行検討 2. 群分け方法の検討  
○櫻井 翔一<sup>1,2</sup>、中山 泰徳<sup>1,2</sup>、小嶋 裕子<sup>1,2</sup>、高井 篤史<sup>1,2</sup>、中野 洋子<sup>1</sup>  
(1: アステラス製薬株式会社 製剤研究所、2: 株式会社ジェー・エー・シー)
- P-36 RCALS におけるカニクイザル用パズルフィーダーの改良  
○河本 育士<sup>1</sup>、岡本 卓士<sup>2</sup>、渡邊 朋和<sup>3</sup>、中川 孝博<sup>1</sup>、土屋 英明<sup>1</sup>  
(1: 滋賀医科大学 動物生命科学研究センター、2: 株式会社ケー・エー・シー、3: 株式会社エーテック)
- P-37 霊長類における正の強化トレーニングと行動学的評価の試み  
○橋本 直子<sup>1</sup>、Regai Lucie<sup>2</sup>、印藤 頼子<sup>1</sup>、夏目 尊好<sup>1</sup>  
(1: 京都大学 霊長類研究所 人類進化モデル研究センター、2: 京都大学 霊長類研究所 社会進化分野)

## その他

- P-38 遺伝子改変マウスを海外へ輸送する際のペーパーワークについて  
○高橋 郁<sup>1</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、山本 由妃<sup>1</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、  
春口 幸恵<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、宮川 あい<sup>1,2</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、  
竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
(1: 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2: 九動株式会社)
- P-39 マウス生殖工学技術マニュアル冊子の作製  
○土山 修治<sup>1</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、  
宮川 あい<sup>1,2</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、山本 由妃<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
(1: 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2: 九動株式会社)
- P-40 霊長類における急性胃拡張および鼓腸症の予防を目的としたモニタリングの実施  
○愛洲 星太郎、橋本 直子、兼子 明久、釜中 慶朗、森本 真弓、石上 暁代、山中 淳史、夏目 尊好、  
前田 典彦  
(京都大学霊長類研究所 人類進化モデル研究センター)

